

士幌町建協有志が草刈り協力

地域に喜ばれる取組を

農業用排水路の機能維持に貢献

【帯広発】士幌町建設業協会（加藤邦彦会長）の有志らは25日、地域貢献活動として中士幌東団地町内会主催の農業用排水路での草刈りに協力した。榊平田建設や秋津道路（榊道東営業所）など7社から30人が参加。斜面の急な農業用排水路の法面に生い茂った雑草を、電動草刈り機などできれいに刈り取り、地域住民からの協力要請に応えた。



内会の高齢化が進み、急こう配での作業には危険が伴うため、町内会の要請に応

える形で農業用排水路の草刈りを行っている。活動は、排水路の機能維持や農地・農業用水などの保全に大きく貢献している。

この日、榊平田建設、秋津道路（榊道東営業所）、榊左藤十建、北斗産業（榊）、士幌建設、（株）大滝組、（株）士舗建設の計7社30人のほか、地域住民が参加。士幌南地区6号明渠排水路の500㍍区間において草刈りを行った。作業に先立ち、平

500㍍にわたって排水路周辺の草を刈り取った

田建設の長谷川雅毅社長は「日ごろの恩返しとして、町内会の皆さんの作業に協力したい。危険な場所での作業となるため、安全には十分留意し、地域の方に喜ばれる取組にしたい」と呼びかけた。

参加者は、安全に気を配りながら作業に汗を流し、農村地域の振興に貢献した。

中士幌東団地町内会の菅野敏見会長は「町内会は高齢化が進み、草刈りができなくて困っていた。協力していただき大変助かった」と話していた。

有志7社が草刈り

士幌町建協農業用排水路で

【帯広】士幌町建設業協会の有志7社は25日、地域住民と協力して町内の農業用排水路で草刈りなどに励んだ。



長谷川雅毅副会長は「急斜面などが多いので十分に気を付けて作業してほしい」とあいさつ。その後、中士幌地区の住民で構成する中士幌保全会のメンバー5人と協力しながら、道管畑総士幌南地区に整備された6号明渠で360㍍にわたって作業した。

環境保全や地域貢献を目的に2012年から継続している活動で、今回として8回目。建協からは平田建設、佐藤十建、士幌建設、大滝組、秋津道路、北斗産業、士舗建設の社員ら30人が参加した。

急な斜面の草刈りなどを建協が担当した